

Polar CS400™
Polar CS600™

使用說明書

POLAR®
LISTEN TO YOUR BODY

運動におけるリスクを最小限に抑えるために

運動には多少のリスクが伴います。定期的な運動プログラムを開始する前に、健康状態をチェックする目的で、つぎの質問に答えてみてください。一つでも“はい”がある場合は、トレーニングプログラムを開始する前に医師に相談されることをお勧めします。

- 過去 5 年間、運動をしていませんか？
- 血圧または血中コレステロールが高い方ですか？
- 血圧や心臓に関連する薬を服用していますか？
- 呼吸障害を伴う既往症がありますか？
- 何らかの疾病の症状がありますか？
- 重篤な病気または治療からの回復中ですか？
- ペースメーカーまたはその他の体内埋め込み型電子機器を使用していますか？
- 喫煙をしていますか？
- 妊娠していますか？

運動の強度だけでなく、心臓、血圧、精神、喘息、呼吸器系などのための薬、あるいは栄養ドリンク、アルコール、ニコチンも心拍数に影響を及ぼすことがあります。

運動中は体の反応に敏感になることが重要です。**運動中に予想外の痛みや激しい疲労を感じる場合は、その運動を中止するか、より軽い運動に切り替えることをお勧めします。**

ペースメーカー、除細動器、またはその他の体内埋め込み型電子機器をお使いの方へ。心臓ペースメーカーなどの医用電気機器を装着されている場合は、本製品はご使用できませんのでご注意ください。

肌に触れる物質に対してアレルギーをお持ちの方、またはこの製品を使用したことによるアレルギー反応の疑いのある方は、「技術仕様」に記載されている材質リストをチェックしてください。トランスミッターによる肌の過敏反応を避けるには、トランスミッターをシャツの上から装着してください。ただし、その場合は装置を正確に作動させるため、電極の下にあたる部分のシャツをよく濡らしてください。



湿気と強い摩擦とにより、トランスミッター表面の黒色が落ち、薄い色の衣服に付着することがあります。防虫スプレーなどを使用する場合は、それがトランスミッターに付着しないように注意してください。

目次

より安全にご利用いただくために	2	4. トレーニングを記録する	20
運動中における注意	2	トレーニングの開始	20
運動におけるリスクを最小限に抑えるために	3	5. トレーニング後の操作	21
1. サイクルコンピュータの各部の紹介	7	6. カスタマーサービス情報	22
2. 初めてサイクルコンピュータを使用する場合	8	取り扱いとメンテナンス	22
タイヤサイズの測定	8	サイクルコンピュータの取り扱い	22
方法 1	8	サービス	24
方法 2	8	電池交換	24
基本設定	10	サイクルコンピュータの電池	24
メニュー構造	12	技術仕様	27
3. トレーニングの準備	13	ポラール国際保証	30
自転車の設定	13	免責条項	31
バイクマウント、サイクリングコンピュータ、			
スピード/ケイデンスセンサーの取り付け	14		
バイクマウントおよびサイクリングコンピュータ	14		
スピードセンサー CS	15		
ケイデンスセンサー	17		
CS600 サイクルコンピュータの付属品の使用方法	18		
トランスミッターの装着	19		

詳しい機能説明は、ユーザーマニュアル（CD）に記載されておりますので、こちらをご覧ください。

ユーザーマニュアル（CD）の主な項目

項目名 階層

- トレーニング中の画面の表示 5. トレーニング > 画面の表示
- ラップを計る 5. トレーニング > トレーニング時のボタン機能 > ラップを計る
- OwnZone を測定する 5. トレーニング > 自分の OwnZone を決定する
- 高度のキャリブレーション（補正）をする 7. 設定方法 > 機能設定 > 高度
- 記録間隔の設定 7. 設定方法 > 機能設定 > 記録時間
- テスト機能 9. テスト
- 役に立つ情報 10. 役に立つ情報 > ポラールスポーツゾーン
> OwnZone トレーニング
> 最大心拍数
> 着座の心拍数
> 心拍予備能力
> 心拍変動
> ポラール情報ライブラリー

1. サイクルコンピュータの各部の紹介

このたびは、ポラール CS400/CS600 サイクルコンピュータをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。この製品は、お客様の好みに合わせたトレーニングを実践するためのシステムです。サイクルコンピュータの詳しい操作方法につきましては、「CD 内の使用説明書」をお読みになってください。

1. ポラール CS400/CS600 サイクルコンピュータ：サイクリングや運動を実施する間に、それらのデータを表示ならびに記録します。
2. ポラール WearLink® 31 (ポラール CS400) / WearLink® W.I.N.D. (ポラール CS600) トランスミッター：心拍数の信号をコード化してサイクルコンピュータに送信します。トランスミッターは、コネクターとストラップから構成されています。
3. ポラールバイクマウント™：自転車にバイクマウントを固定し、サイクルコンピュータを取り付けます。
4. ポラールスピードセンサー™(CS400) / スピードセンサー™ W.I.N.D. (CS600)：ワイヤレス式のスピードセンサーで、サイクリング中の速度と走行距離を測定します。

5. オプションのポラールケイデンスセンサー™(CS400) / ケイデンスセンサー™ W.I.N.D. (CS600)：ワイヤレス式のケイデンスセンサーで、自転車のペダルを回す速度を測定します。1 分間の回転数 (rpm) として表示されます。
6. オプションのパワーセンサー™ W.I.N.D. (CS600)：ケイデンス (ペダルの毎分回転数) の平均 / 最高値、出力されるパワー、およびペダリングの指数、さらに左右のペダリングのバランスを測定します。
7. CD-ROM：ポラール ProTrainer 5™ ソフトウェアおよび使用説明書が含まれており、サイクルコンピュータを有効に活用するために役立ちます。

2. 初めてサイクルコンピュータを使用する場合

タイヤサイズの測定

サイクルコンピュータをご使用になる前に、自転車のタイヤサイズを測ってください。

サイクリングに関する正確な情報を得るためには、タイヤサイズの設定が重要です。サイズを決定する方法は、以下のように 2 種類あります：

方法1

タイヤを見て、印字されている直径のインチまたは ETRTO 値を探してください。次ページの ETRTO 表を利用して、その数値に対応するミリメートル値を右の欄から見つけてください。

 表の値は参考であり、タイヤサイズはタイヤの種類や空気圧により多少異なります。

方法2

正確な値を導き出すには、実際に測定することをお勧めします。

バルブ（空気入れ口）を目印にして、バルブ部分のタイヤを地面に接触させてください。接触した部分で、地面に線をひきます。タイヤを平らな地面の上で一回転させてください。タイヤが地面に対して垂直であることが重要です。そして、バルブ部分のタイヤが地面に触れた部分（タイヤが一回転した部分）にもう 1 本の線をひきます。地面にひかれた 2 本線の間の距離を測定します。

自転車に乗るあなたの重量を考慮して 4mm を減算し、タイヤの円周を決定します。この値を、サイクルコンピュータに入力してください。

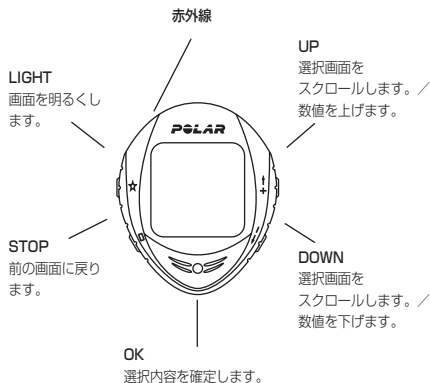
ETRTO	タイヤの直径サイズ (インチ)	タイヤサイズ設定値 (mm)
25-559	26 × 1.0	1884
23-571	650 × 23C	1909
35-559	26 × 1.50	1947
37-622	700 × 35C	1958
47-559	26 × 1.95	2022
20-622	700 × 20C	2051
52-559	26 × 2.0	2054
23-622	700 × 23C	2070
25-622	700 × 25C	2080
28-622	700 × 28	2101
32-622	700 × 32C	2126
42-622	700 × 40C	2189
47-622	700 × 47C	2220

基本設定

サイクルコンピュータを初めて使用する前に、基本設定を入力してください。測定結果に基づく正確なフィードバックを得るためにも、できる限り正確なデータを入力してください。

データの調整は UP および DOWN ボタンを使用し、OK ボタンにより確定します。UP または DOWN ボタンを長く押すと、数値が速くスクロールします。

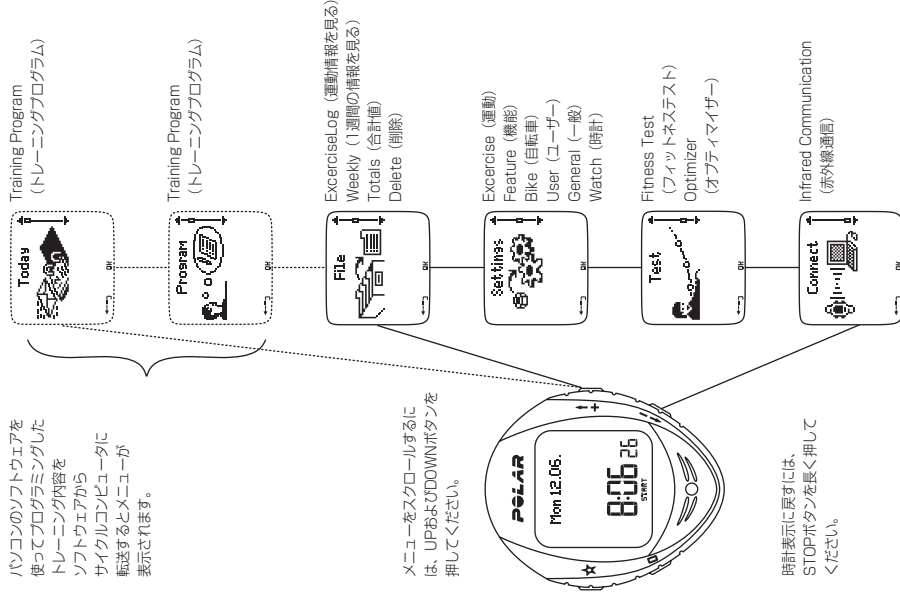
1. サイクルコンピュータを起動するには、OK ボタンを 2 回押します。一度起動すると、スイッチを切ることはできません。
2. **Welcome to Polar Cycling World!** と表示されます。OK ボタンを押してください。
3. **Language : 英語、ドイツ語、スペイン語、フランス語またはイタリア語**を選択できます。English (英語) を UP または DOWN ボタンで選択し、OK ボタンを押してください。



4. **Start with bike settings** と表示されます。OK ボタンを押してください。
5. **Number of bikes**: 使用する自転車の数に応じて、**1**、**2**、または **3** (CS600) を選択してください。自転車を 1 台しか使用しない場合、2 台目または 3 台目 (CS600) の設定は後でもできます。
6. **Wheel**: 自転車のタイヤサイズ (mm) を入力します。詳細については、「タイヤサイズの測定 (P.4)」を参照してください。
7. **Basic settings** と表示されます。OK ボタンを押し、以下のデータを設定してください:
8. **Time**: **12 時間** または **24 時間** フォーマットを選択します。**12 時間** フォーマットの場合、**AM** または **PM** を選択してください。続いて、時刻を設定してください。
9. **Date**: 日付を設定します。dd= 日、mm= 月、yy= 年。
10. **Units**: メートル単位 (kg/cm/km) または英国単位 (lb/ft/mi) を入力します。
11. **Weight**: 体重を入力します。単位を変えるには、LIGHT ボタンを長く押してください。
12. **Height**: 身長を入力します。
13. **Birthday**: 生年月日を入力します。dd= 日、mm= 月、yy= 年。
14. **Sex**: **Male** (男性) または **Female** (女性) を選択してください。
15. **Settings OK?** と表示されますので、**Yes** または **No** を選択してください。**Yes** を選択すると、設定内容が確定し、保存されます。画面には時刻が表示されます。設定が誤っている場合は、**No** を選択し、設定を変更してください。STOP ボタンを押すと、変更したいデータまで戻ります。

パソコンのソフトウェアを使ってプログラミングしたトレーニング内容をソフトウェアからサイクルコンピュータに転送するとメニューが表示されます。

メニュー構造



3. トレーニングの準備

自転車の設定

サイクルコンピュータに、2 台／3 台（CS600）の自転車の優先順位を設定できます。自転車の設定をしたら、トレーニングを開始する時に 1、2、または 3（CS600）を選択してください。デフォルトで、Bike 1 が設定されています。

Settings > Bike > Bike 1、Bike 2、Bike 3 (CS600)、または Other を選択してください。Bike 2 と Bike 3 (CS600) は、オンまたはオフにすることができます。



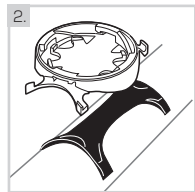
“Other” を選択すると、スピード、ケイデンス、およびパワーセンサー（CS600）が無効になり、心拍数、高度、および温度データのみが測定されます。

詳細については、「CD 内の使用説明書」を参照してください。

バイクマウント、サイクリングコンピュータ、スピード／ケイデンスセンサーの取り付け

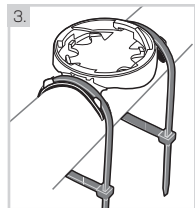
バイクマウントおよびサイクリングコンピュータ

1. バイクマウントおよびサイクリングコンピュータは、左右のハンドルバーまたはステムに取り付けることができます。バイクマウントの取り付けには、タイラップを使用します。



2. ハンドルバーまたはステムにラバー部品を取り付け、その上からバイクマウントを挿入してください。

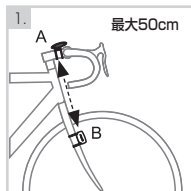
4. バイクマウント上にサイクリングコンピュータを配置します。“カチッ”という音が聞こえるまで、サイクリングコンピュータを時計方向に回してください。サイクリングコンピュータを取り外す場合は、サイクリングコンピュータを押しながら、反時計方向に回してください。



3. タイラップを使用してバイクマウントを取り付けるには、タイラップをバイクマウントに通し、ハンドルバー／ステムの周囲で調整します。バイクマウントを確実に固定してください。タイラップの余分な部分は切断してください。

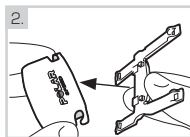
スピードセンサーCS

スピードセンサーとスポークマグネットを取り付けるには、カッターと小型ドライバーが必要です。

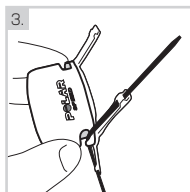


1. フロントフォークの前面を調べ、スピードセンサーの取り付けに最適な場所を見つけてください。サイクリングコンピュータをステムに取り付ける場合 (図を参照)、センサーはフロントフォーク (B) のいずれの側にも取り付けることができます。

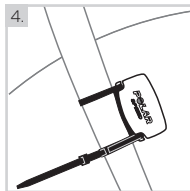
ただし、サイクリングコンピュータをハンドルバーに取り付ける場合は、センサーを、サイクリングコンピュータと同じ側に取り付けてください。センサーは、取り付けたサイクリングコンピュータ (A) から**最大でも 50cm** 以内に取り付けることをお勧めします。距離が 60 ~ 70cm 以上になる場合は、運動を開始する前にセンサーの機能をテストしてください。また、サイクリングコンピュータは、スピードセンサーに対して**約 90° の角度**をつけてください。



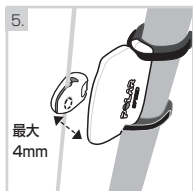
2. セットには、2種類の大きさのラバー部品が含まれています。フロントフォークのサイズに応じた適切なラバーを選択し、センサーに取り付けます。



3. スピードセンサーの取り付けには、タイラップを使用します。タイラップを使用してセンサーを取り付けるには、タイラップを、センサーとラバー部品に通してください。



4. "POLAR" のロゴが外側を向くように、センサーをフロントフォークに対して調整してください。タイラップを緩めに調整し、締めすぎないようにしてください。"POLAR" のロゴが外側を向くように、取り付けてください。



5. センサーと同じ高さになるように、マグネットをスポークに取り付けてください。マグネットの孔は、スピードセンサーに向けてください。マグネットをスポークに取り付け、ドライバーを使用して緩めに締めてください。この時、締めすぎないようにしてください。

マグネットがセンサーの近くを通過し、かつ接触しないように、マグネットとスピードセンサーの位置を微調整してください。センサーがホイール／スポークの方を向くように、可能な限り調整してください。センサーとマグネット間の**最大距離は、4mm**とします。

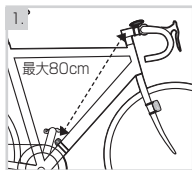
マグネットとスピードセンサーが正しく配置されたら、ドライバーを使用してマグネットをネジ留めします。また、タイラップもしっかりと締め、余分な部分を切断してください。

Polar 社は、お客様の安全を第一に考えています。自転車に乗るときは、道路の状況に注意を払って事故やケガのないようにしてください。ハンドルバーを普通に回すことができ、ブレーキやギヤのケーブルがバイクマウントまたはセンサーに引っかからないことを確認してください。また、バイクマウントやセンサーが、ペダルをこぐときや、ブレーキ／ギヤを使用するときに邪魔にならないか確認してください。

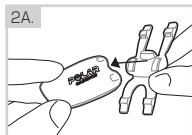
サイクリングを開始する前に、自転車のタイヤサイズをサイクリングコンピュータに設定する必要があります。

ケイデンスセンサー

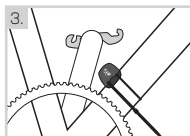
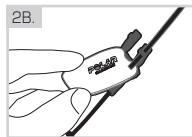
ケイデンスセンサーおよびクランクマグネットを取り付けるには、カッターと小型ドライバーが必要です。



1. ダウンチューブを調べ、ケイデンスセンサーの取り付けに最適な場所を見つけてください。センサーは、取り付けたサイクリングコンピュータから最大でも80cm以内に取り付けてください。必要に応じて、センサーをシートチューブに取り付けることもできます。



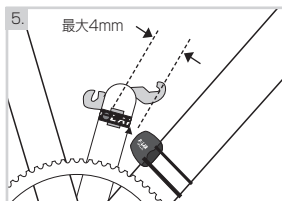
2. ケイデンスセンサーにラバー部品を配置し (A)、タイラップを、ケイデンスセンサーとラバー部品に通してください (B)。



3. センサーの取り付け場所をきれいにして水分を拭き取り、ダウンチューブに対してセンサーを調整してください。センサーがクランクに接触する場合は（回転するとき）、センサーの位置を少し上方に変えてください。そして、タイラップを緩めに調整し、締めすぎないようにしてください。



4. クランクの内側に、クランクマグネットを縦に取り付けます。マグネットをクランクに取り付ける前に、取り付け位置をきれいにして水分を完全に拭き取ってください。マグネットをクランクに取り付け、テープで固定してください。



5. クランクマグネットがセンサーの近くを通過し、かつ接触しないように、マグネットとセンサーの位置を微調整してください。

ケイデンスセンサーとクランクマグネット間の距離は、最大**4mm**とします。回転するとき、そしてセンサーをシートチューブに取り付けるとき、センサーの下隅がマグネットの方を向くようにしてください。センサーの下隅は、図の矢印で示される部分です。クランクマグネットとセンサーが正しく配置されたら、タイラップをしっかりと締め、余分な部分を切断してください。

サイクリングを開始する前に、ケイデンス機能を On にしてください。

CS600サイクルコンピュータの 付属品の使用方法

お使いのサイクルコンピュータは、ポラール WearLink W.I.N.D. トランスミッターおよびスピードセンサー W.I.N.D. とリンクして、心拍数、速度、および距離を測定するようにティーチング（設定）されています。つまり、お使いのサイクルコンピュータは、あなたのトランスミッターとスピードセンサーの信号しか受信しないので、グループで運動をしていても他の機器から干渉を受けることはありません。

新しいトランスミッターまたはセンサーに対するティーチング方法については、「CD 内の使用説明書」を参照してください。

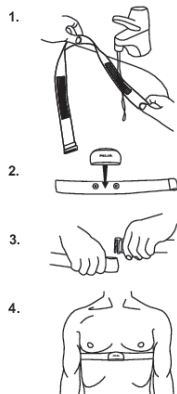
-  サイクリングイベントに参加する場合は、必ず事前にティーチングをおこなってください。ティーチングにより、データを長距離伝送する際の干渉を防止することができます。

トランスミッターの装着

心拍数を測定する場合は、WearLink+W.I.N.D. トランスミッターを装着する必要があります。

1. ストラップの電極部分を水道水で濡らし、よく湿らせてください。
2. コネクターをストラップに取り付けます。ストラップを、適当な長さに調節してください。ただし、きつくなり過ぎないように注意してください。
3. ストラップを胸のまわりに回し、胸の筋肉のすぐ下あたりに巻きつけ、フックをストラップのもう一方の端に取り付けます。
4. 濡らした電極部分が肌に密着し、コネクターの“Polar” のロゴが胸の中央で上下正しい向きになっていることを確認してください。

トランスミッターを長持ちさせるためにも、使用しない時はコネクターをストラップから取り外しておいてください。洗い方については、「取り扱いとメンテナンス」を参照してください。

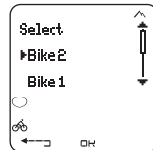


4. トレーニングを記録する

トレーニングの開始

トランスミッターを装着し、サイクルコンピュータをバイクマウントに取り付けてください。

1. OK ボタンを押して、心拍数の測定を開始してください。サイクルコンピュータは、一時停止モードになります。
2. トレーニングに使用する自転車を選択してください。デフォルトで、Bike 1 が設定されています。**Settings > Bike > Bike 1 > OK** と選択します。心拍数だけを記録したい場合は、**Other** を選択してください。
3. 15 秒以内 (CS400) / 4 秒以内 (CS600) に、ディスプレイに心拍数と♥マークが表示されます。枠の付いた♥マークは、転送信号がコード化されていることを意味します。CS400 の場合、画面底部にサイクリストのマークが表示され、右側に、使用している自転車 **1** または **2** が示されます。CS600 の場合、すべてのセンサーが検出されると、サイクリストのマークが点滅を止めます。
4. 画面の上部に、運動の種類が表示されます。OK ボタンを押して、トレーニングを開始してください。
5. STOP ボタンを押すと、運動内容の記録が一時停止します。記録を完全に停止させるには、EXIT ボタンを選択してください。



いろいろな設定を使用する場合は、Settings メニューを選択してください。Settings メニューの詳細については、「CD 内の使用説明書」を参照してください。

5. トレーニング後の操作

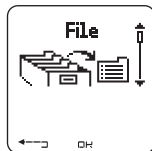
使用後は、ストラップからコネクタを外してください。トランスミッターは乾燥させ、汚れない状態で保管してください。詳細については、「取り扱いとメンテナンス」を参照してください。

File で、運動データを表示することができます。

- **Exercise log** には、最大 99 の運動ファイルが保存されています。
- **Weekly** には、過去 16 週間のトレーニングの概要が表示されます。
- **Totals** には、トレーニング中の記録の積算値が含まれています。
- **Delete** は、ファイルを削除します。運動データを表示するには、OK ボタンを押し、UP または DOWN ボタンを使用して画面をスクロールしてください。

より詳しく分析するには、データを、ポラール ProTrainer 5 に転送してください。

トレーニング情報の詳しい表示方法については、「CD 内の使用説明書」を参照してください。



6. カスタマーサービス情報

取り扱いとメンテナンス

サイクルコンピュータの取り扱い

他の電子機器と同様に、ポラールサイクルコンピュータも注意して取り扱う必要があります。保証を受ける際の諸条件を満たすために、また、今後長きにわたって本製品をご愛用いただくためにも、以下の説明をよくお読みください。

使用後は、トランスミッターのコネクターをストラップから外してください。コネクターは、薄めた石鹼水を使用して洗ってください。そして、タオルでよく拭いてください。決してアルコールや研磨性材料（金属たわし、洗淨薬品など）を使用しないでください。

使用後は、トランスミッターのストラップを水ですすいでください。1 週間に 3 回以上ストラップを使用する場合は、少なくとも 3 週間に 1 回は洗濯機でクリーニング（40℃ / 104°F）してください。洗濯する際は、洗濯ネットを使用し、決して直接浸さないでください。漂白剤または柔軟剤入りの洗剤は使用しないでください。ストラップを、ドライクリーニングまたは漂白することは止めてください。

長期間保存する前、そして、塩素濃度の高いプールを利用した後はストラップを洗浄してください。ストラップに対して、回転式の乾燥機やアイロンを使用しないでください。コネクターに対して、決して洗濯機やドライヤーを使用しないでください！
ストラップとコネクターは乾燥させた後、別々に保管してください。

サイクルコンピュータおよびトランスミッターは、涼しく乾燥した場所に保管してください。湿度の高い環境において、あるいは通気性のない入れ物（ビニール袋、スポーツバッグなど）に入れて保管しないようにしてください。

コネクターは、ボタンの金属部分を濡らしたりストラップを付けたままにしておくとも電池を消耗しますのでご注意ください。

サイクルコンピュータおよびセンサーは防水性のため、雨中で使用することもできます。防水性を維持するために、サイクルコンピュータおよびセンサーに水圧をかけて洗浄することや、水中に入れることは止めてください。

サイクルコンピュータおよびセンサーを汚れない状態に維持してください。サイクルコンピュータは、薄めた石鹸水を使用して洗い、最後にきれいな水ですすいでください。水には入れないようにしてください。そして、やわらかいタオルでよく拭いてください。決してアルコールや研磨性材料（金属たわし、洗剤薬品など）を使用しないでください。

サイクルコンピュータおよびセンサーを、激しくぶつけないようにしてください。損傷する恐れがあります。車中に置いたままや、バイクマウントに取り付けたままにして、サイクルコンピュータを長時間日光にさらさないようにしてください。

使用温度は、 $-10^{\circ}\text{C} \sim +50^{\circ}\text{C}$ / $-14^{\circ}\text{F} \sim +122^{\circ}\text{F}$ です。

サービス

2年間の保証期間中、製品のサービスは、必ず正規のポラールサービスセンターで受けてください。ポラールエレクトロ社が承認しないサービスによる損傷またはそのサービスの結果発生した損傷につきまして、当社は保証を負いかねます。詳細につきましては、「ポラール国際保証」を参照してください。

電池交換

スピードセンサーおよびケイデンスセンサーの電池は交換できません。平均電池寿命は、使用時間で4,500時間です。電池が消耗したと思われる場合は、新しい商品をお求めください。

パワーセンサー W.I.N.D. の電池交換については、パワーセンサーの「CD 内の使用説明書」を参照してください。

サイクルコンピュータの電池

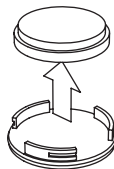
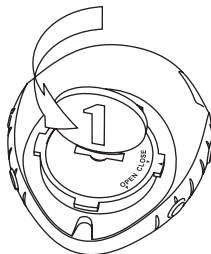
電池交換は、正規のポラールサービスセンターに依頼することをお勧めします。不必要に電池カバーを開けることは避けるようにしてください。また、ご自身で電池を交換される場合は、必ず次の説明書きの指示に従ってください。

電池カバーを長期にわたり使用するためにも、電池を交換する時以外はカバーを開けないようにしてください。

サイクルコンピュータの電池の残量が10～15%になると、低残量インジケーターが現れ、**Battery low**と表示されます。低残量マークが表示されると、バックライトおよびサイクルコンピュータのサウンドが自動的に消えます。バックライトを使いすぎると、サイクルコンピュータの電池が早く消耗します。また、気温が低い場合、低残量インジケーターが表示されることがありますが、気温が高くなるとこのインジケーターは消えます。

サイクルコンピュータの電池を交換するには、コインと電池 (CR2354) が必要です。

1. コインを電池カバー裏側の溝に入れ、軽く押しながらカバーを“OPEN”位置まで反時計方向に回して電池カバーを開いてください。
2. 電池カバーを外します。電池はカバーに取り付けられていますので、注意深く持ち上げてください。電池を取り出し、新しい電池と交換してください。このとき、カバーの溝を傷つけないように注意してください。
3. 電池のプラス側 (+) をカバーに向け、マイナス側 (-) をサイクルコンピュータに向けてください。
4. 電池カバーのシーリングリングも、カバーに取り付けられています。電池カバーを閉じる前に、シーリングリングに損傷がないこと、そして溝に正しく収まっていることを確認してください。シーリングリングは、損傷している場合のみ交換してください。
5. 電池カバーを所定の位置に収め、コインを使用してカバーを“CLOSE”位置まで時計方向に回してカバーを閉じてください。カバーが正しく閉じられたことを確認してください！



メーカーの指示に従って使用している場合、電池カバーのシーリングリングは、サイクルコンピュータの寿命と同じだけ使用できます。ただし、シーリングリングが損傷している場合は、ポラールサービスセンターにお問合せください。シーリングリングの交換は、正規のポラールサービスセンターでのみ取り扱っています。

電池を交換した後は、Basic Settings メニューにおいて、時刻と日付を再入力してください。詳細については、Basic Settings メニューを参照してください。

 電池はお子様の手の届かない場所に保管してください。飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。電池は、地域自治体の指定に従い廃棄してください。

WearLink (W.I.N.D.) トランスミッターの電池を交換する場合は、必ずサイクルコンピュータの電池交換方法の指示に従ってください。

技術仕様

サイクルコンピュータ

本体ユニットは、クラス1レーザ製品です。

電池寿命：	平均1年(1日1時間、週7日使用の場合)
電池タイプ：	CR 2354
電池シーリングリング：	Oリング 20.0 × 1.0、材料：シリコン
動作温度：	-10°C ~ +50°C / 14°F ~ 122°F
材質：	熱可塑性ポリマー
時計精度：	25°C (77°F) で1日 ± 0.5 秒以内
心拍数モニターの精度：	± 1% または 1bpm のいずれか大きい方 (安静時)
心拍数の測定範囲：	15 ~ 240
速度表示範囲：	0 ~ 127km/h または 0 ~ 75mph
高度表示範囲：	-550m ~ +9000m / -1800ft ~ +29500ft
高度分解能：	5 m/20ft

サイクルコンピュータの限界値

最大ファイル数：	99
最大時間：	99 時間 59 分 59 秒
最大ラップ数：	99
合計距離：	999 999km / 621 370 マイル
合計時間：	9999 時間 59 分 59 秒
合計カロリー：	999 999kcal
合計運動カウント数：	9999
合計高度：	304 795m / 999 980ft

トランスミッター

WearLink 31 トランスミッターの電池寿命：	平均2年(1日1時間、週7日使用の場合)
WearLink W.I.N.D. トランスミッターの電池寿命：	平均2年(1日3時間、週7日使用の場合)
電池タイプ：	CR2025
電池シーリングリング：	Oリング 20.0 × 1.0、材料：シリコン
動作温度：	-10°C ~ +40°C / 14°F ~ 104°F
コネクタ材料：	ポリアミド
ストラップ材料：	ポリウレタン/ポリアミド/ ポリエステル/エラストン/ナイロン

IrDA 通信を利用したボラール WebLink、ボラール ProTrainer 5™

システムの条件：

PC

Windows® 2000/XP (32bit)

IrDA 互換ポート（外付け IrDA 装置または内蔵 IR ポート）

また、PC には Pentium II 200MHz 以上のプロセッサ、SVGA 以上の解像度のモニター、50MB のハードディスク空き容量、および CD-ROM ドライブが必要です。

ボラール製品の**防水性**は、国際規格 ISO2281 に準拠して試験されています。製品は、その防水性能により 3 種類のカテゴリーに分類されます。ボラール製品の裏面に記載されている防水カテゴリーをチェックして、以下の表でその内容を確認してください。これらの定義は、必ずしも他のメーカーの製品には適用できませんので注意してください。

裏面の表示	飛まつ、汗、雨滴など	入浴および水泳	シュノーケルによるスキューバダイビング（エアタンクなし）	スキューバダイビング（エアタンクあり）	防水特性
防水	○				飛まつ、雨滴など
50m 防水	○	○			入浴および水泳 * 可能
100m 防水	○	○	○		水中で頻繁に使用、ただしスキューバダイビングには不適

* これらの特性は、30m防水と記されたボラールWearLink 31およびWearLink W.I.N.D.トランスミッターにも適用されます。

ポラール国際保証

1. 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満 2 年間無料修理を致します。
2. 本保証内容にもとづく修理をご要望の際は、当社ポラールサービスセンターに保証書を提示しお申し出ください。尚、お買上げ店または当社ポラールサービスセンターにご送付いただく際の諸費用は、お客様にてご負担願います。またお買上げ店と当社間の運賃諸掛りにつきましても、一部ご負担いただく場合があります。
3. 次の場合は、保証期間内でも保証の対象とはならず、有料修理となります。
 - ① 使用上の誤り（使用説明書以外の誤操作等）により生じた故障。
 - ② 当社ポラールサービスセンター以外で行われた修理、改造、分解掃除等による故障。
 - ③ 落下、衝撃等が原因で発生した故障。
 - ④ 火災、天災、地変等による故障。
 - ⑤ 保管上の不備（高温多湿の場所、ナフタリンや樟脳の入った場所での保管、電池の漏液等）や手入れの不備による故障。
 - ⑥ 保証書の添付のない場合
 - ⑦ 販売店名、ご購入年月日の記入なき場合、または記載事項を訂正された場合。
4. 保証の対象となる部分は本体のみで、付属品類（ストラップベルト、ホルダー等）及び、製品に付帯している消耗品類（電池類等）は、保証の対象とはなりません。
5. 本製品の故障に起因する付随的損害については補償致しかねます。
6. 本製品のご購入時に入っている電池は動作確認用のモニター電池です。から記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。尚、モニター用電池は本体価格に含まれるものではありません。

- ※ ご注意
1. 本保証書は、以上の保証規定により無料修理をお約束するためのもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
 2. 本保証書の表示について、ご不明の点は当社製品に関するご相談窓口にお問い合わせください。
 3. 本保証書は紛失されても再発行はいたしませんので、大切に保管してください。

 この CE マークは、本製品が指令 93/42/EEC に適合していることを示しています。

ポラールエレクトロ Oy は、ISO 9001:2000 認証企業です。
Copyright © 2004 Polar Electro Oy, FIN-90440 KEMPELE, Finland

著作権所有。本使用説明書のいかなる部分も、事前にポラールエレクトロ Oy の書面による許可を得ることなく、いかなる形態または方法においても使用または複製することはできません。

本使用説明書または本製品のパッケージにおいて、™ の記号を伴う名称およびロゴは、ポラールエレクトロ Oy の商標です。

本使用説明書または本製品のパッケージにおいて、® の記号を伴う名称およびロゴは、ポラールエレクトロ Oy の登録商標です。ただし、Windows は、Microsoft Corporation の登録商標です。

Manufactured by

Polar Electro Oy
Professorintie 5
FIN-90440 KEMPELE
Tel +358 8 5202 100
Fax +358 8 5202 300
www.polar.fi

